

📅 9月4日 市町村自治会館

国保連合会職員研修

契約・支出の実務を学ぶ

職員を対象に、熊本県出納局会計課主幹磯部亮氏を講師に迎えて「契約・支出の実務について」をテーマに研修会を開催した。

契約事務の基礎から支出負担行為などさまざまな内容について、○最小限の経費○公平公正○適正履行—の三つをポイントに説明があった。

参加者からは「具体的な事例が示され、とてもわかりやすい研修だった」「即、担当業務で実践していきたい」などの感想が寄せられた。

📅 9月8日 グランメッセ熊本

平成29年度レセプト点検研修会

レセプト二次点検の要点などを説明

この研修会は、レセプト点検員等を対象に本会審査管理課が毎年開催しているもので、県内保険者、熊本県後期高齢者医療広域連合、熊本県から合わせて67人が参加した。

初めに、松村審査管理課長が「今後も保険者と共同して医療費適正化対策に努めるとともに、さらなる審査の充実・強化と併せて、保険者への審査に係る情報提供など保険者支援に努めていく」と挨拶した。

続いて、医科と調剤の各担当者から、事前に受け付けた質問事項に係る回答、レセプト二次点検のポイントなどについて説明した。

また、熊本県国保・高齢者医療課担当者から、保険医が配置されている施設において、入所中の患者に対して行った診療に伴う診療報酬の算定について説明があった。

今年度は、参加者に、研修会内容及び各保険者へ二次点検支援の一環として送付している点検結果一覧リストの活用状況等についてアンケート調査を実施したところ、回答のあった35人中9割以上が「研修会内容を理解でき、当該リストを活用している」との結果であった。

一方、研修会の内容及び点検結果一覧リストに関する率直な意見や未回答もあったことから、今後の研修会の内容検討と併せて、当該リストの精度向上に努めていく。



📅 9月14日 市町村自治会館

平成29年度第2回熊本県保険者協議会医療費分析部会

医療費分析結果や各保険者の状況などの報告と意見交換

県内の各医療保険者や熊本県から14人の委員が出席し開催した。
木村光宏部会長（全国健康保険協会熊本支部）の進行で次の事項について協議した。

- 1 医療費分析について
- 2 治療中の健診未受診者について
- 3 後発医薬品使用促進に関する取り組みについて
- 4 その他

1では、①圏域ごとの医療費状況②データヘルス計画の中長期目標疾患の件数及び医療費一について、事務局から調査結果を報告した。また、②に関して○システムでデータ抽出できるか○報告された件数や診療費は本人だけか、被扶養者を含むか○第1期のデータヘルス計画の評価一の3点について、各委員が自保険者の状況を報告した。

2では、受診率向上のために、通院中の特定健診未受診者のうち健診項目を通院中の検査項目でほとんど満たせる人について、「情報提供」によるデータ提供を医師会への依頼事項として検討中であることを事務局が報告した。それに対して委員が質問や意見交換し、治療中の未受診者対策の重要性を再確認した。

3では、○後発医薬品の数量シェア○後発医薬品軽減額通知件数・効果額○各医療保険者の後発医薬品の使用促進に向けた取り組み一について各委員が報告した。



📅 9月28日 火の国ハイツ

第2回データヘルス計画の効果的な実施に向けた学習会

平成30年度に向けて情勢を徹底解説

今回の学習会には各市町村の保健事業担当者及び保健師・栄養士等の専門職合わせて218人が参加した。講師には、第1回に引き続き長野県飯田女子短期大学非常勤講師の熊谷勝子氏を迎えた。

第1回からの約4カ月の間に、今年度以降の保険者努力支援制度の評価指標が決定し、第3期特定健診及び第2期データヘルス計画に向けて具体的な内容が明らかになるなど、国保に関する情勢は目まぐるしい展開を見せてきた。今回は、各制度等の根拠となる法律やその背景である日本の現状・課題について解説があり、それらの全体像を理解することで、住民に最も身近な存在である市町村が現場で実践していくべきことを見出せる学習会であった。



📅 9月29日 市町村自治会館

第2回データヘルス担当研修会（力量形成）

保険者努力支援制度について理解を深める

本研修会は、各地区において将来的に保健活動のリーダーとして活躍できる保健師等専門職が、医療や健診データを用いた資料の作成及び活用方法や評価について学ぶことを目的の一つにしている。

今回は30市町村から40人の保健師・栄養士が参加した。講師には、第1回に引き続き長野県飯田女子短期大学非常勤講師の熊谷勝子氏を迎えた。

保険者努力支援制度をより深く理解するため、参加者には『社会保障費の安定』や『医療費抑制』の視点を盛り込んだ資料の作成が事前課題として出されていた。研修会ではその資料を使用目的に合わせて改変し、効果的に利用していく方法について実例を用いて学習した。

